



シラバス参照

タイトル「2014年度 教養科目シラバス」、フォルダ「2014年度 教養科目シラバス-2014年度「わかやま」学」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	わかやまを学ぶ		
担当教員	上村 雅洋 吉村 旭輝 海津 一朗 足立 啓 東 悦子		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	金 4	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名 (英語表記)	Lectures on Wakayama		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	<p>「わかやま」の特性を理解するために、「わかやま」がもつさまざまな側面について、「わかやま」を研究フィールドとする専門家の目を通して学ぶ。ここでは、新たな「わかやま」の姿が具体的に明らかにされ、学生の「わかやま」を深く理解する契機となるであろう。「わかやま」をよく知ることによって、「わかやま」を発信できるようにする。将来「わかやま」などをフィールドとする地域研究を進める上での一助となるであろう。</p>		
授業計画	<p>おおむね、以下のような内容を予定しているが、講師の都合により、前後したり、急遽変更することがあるかもしれません。</p>		
	回	内容	
	1	ガイダンス(4月11日)	
	2	多様性のあるわかやまの地形・地質 (4月18日、此松昌彦)	
	3	和歌山の干潟に見られる希少で豊かな生き物と、その興味深い生態 (4月25日、古賀庸憲)	
	4	紀伊半島および和歌山の生き物たち (5月2日、高須英樹)	
	5	和歌祭とわかやまの祭礼の特色 (5月9日、吉村旭輝)	
	6	和歌山から世界へ—移住者の足跡を辿る— (5月16日、東悦子)	
	7	和歌山の産業と立地 (5月23日、藤田和史)	
	8	和歌山の環境精神文化 (5月30日、加藤久美)	
	9	わかやまの説話・物語 (6月6日、大橋直義)	
	10	わかやまの反逆者たち—悪党・海賊・倭寇— (6月13日、海津一朗)	
	11	紀州藩の城下町 (6月20日、藤本清二郎)	
	12	近代都市わかやまの発展—「工都」の出現と50万都市構想— (6月27日、高嶋雅明)	
	13	和歌山における地域福祉のまちづくり (7月4日、足立啓)	
	14	世界的博物学者南方熊楠に何を学ぶか (7月11日、谷脇幹雄)	
15	まとめ、アンケート (7月18日)		
到達目標	<p>「わかやま」についての新たな知見を得て、「わかやま」を深く理解する契機とし、「わかやまの」情報発信者となる。</p>		
成績評価方法	成績評価は、積極的な授業参加とレポートによって行う。		
教科書	授業中に各講師により適宜プリントを配布する。		
参考書	授業中に適宜紹介する。		

履修上の注意・メッセージ	講義は、毎回「わかやま」を対象とし、さまざまな専門性をもつ講師によって順次行われる。1回完結の講義で、できるだけ異なる分野の講師の講義を欠席することなく、数多く受講し、積極的な参加を求める。講師の都合により、多少講義の順序を変更することがある。 第1回目の講義（4月11日）に、詳しい各回の講義内容と担当者の予定について説明する。
授業時間外学習	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。

